

# 寝屋川市、『変化』の第二幕

スタート!

## 広瀬市長所信表明

5月に再任した広瀬市長が、市議会6月定例会にて任期4年間の中で取り組んでいく市政運営に関して所信を表明しました。

今月の特集では、その内容について分かりやすくお伝えします。

所信表明の全文は、市ホームページ(左のQRコード)をご覧ください。



企画一課(☎825・2016)



### 第9代 寝屋川市長

ひろせ けいすけ  
広瀬 慶輔

#### Profile

昭和45年8月31日生まれ  
寝屋川市立成美小学校  
寝屋川市立第九中学校  
私立上宮高等学校  
明治大学政治経済学部経済学科  
明治大学大学院政治経済学研究所  
博士前期課程修了  
政治学(行政学)修士号取得  
令和元年から寝屋川市長(現在2期目)

今般、市民の皆さんの信託を得て、2期目のかじ取りを担うこととなりました。これまでの市政に対しては、「良くなってきたと感じる」などの声や、市民の9割が「評価する」といった調査結果もいただいでおり、多くの市民の皆さんが「よい変化」を実感した結果、信任をいただいたものと受け止めております。

引き続き、市民の皆さんの支持と期待に応えられるよう、決意を新たに、「評価される市役所」となるために、全身全霊で職責を果たしてまいります。

#### 広瀬市政について



令和5年4月23日実施  
NHK市長選挙出口調査  
(対象者:1,876人)

### 市長の給料に

### 「市民評価連動型給料」を導入します

市長の仕事は「4年間のプロ契約」のようなものであり、その成果に責任を持つために市長と経営陣(特別職)の給料に「市民評価連動型給料」を導入します。

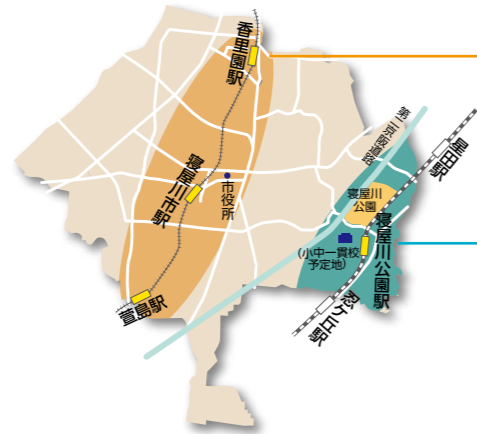
4年毎に実施予定の「(仮称)市民意識調査」において、市政運営の評価項目を指標として「評価しない(否定的評価)」が「評価する(肯定的評価)」を上回った場合に「経営上のペナルティー」として、定められた給料から減額するものです。

### 「2軸化構想」の推進と年齢構成のリバランス

本市では昭和35年から昭和50年にかけて、当時「日本一」と言われた急激な人口増加(5万人程度⇒25万人超え)があり、「年齢構成のバランスの崩れ」に伴って特有の課題が生じています。

#### 本市特有の課題

- 当時、集中的に流入した20歳代・30歳代の高齢化(社会保障費の更なる増大)
- 当時、建設した公共施設の一斉更新(今後30年間で2千億円を超える費用が必要となる見込み)



#### 京阪軸

人口増加時に若い世代が集中的に流入。広い範囲で住宅開発が行われてきた。

#### 学研都市軸

高いポテンシャルを持ち、開発余地がある。子育て世代を集中的に誘引するエリア。

寝屋川市内にある2つの沿線軸(京阪軸・学研都市軸)について、時期を変えて開発・リニューアルを行い、**年齢構成の異なる2軸が交互に年齢構成のリバランスを図ることで、持続的に成長し続けるまちを実現する**ことが「2軸化構想」の要諦です。

### まちのリノベーションのプロデュース

市内の鉄道駅エリアごとに、その地域の特性や長所を生かしたまちづくりを展開し、それぞれの魅力を高めるための取り組みを進めてきました。今後も各エリアの「コンセプト」を明確にし、それぞれの強みやポテンシャルを最大化できるよう、まちをプロデュースしていきます。

#### 既に再開発済

##### 香里園駅



駅周辺にはタワーマンションなどが建ち並び、既に「子育て世代から選ばれるまち」に。

#### この4年間で大きく『変化』

##### 寝屋川市駅



市の中心部にある「行政の首都」として市民サービスを集約化。駅前の魅力と活力の向上につながる「ターミナル化構想」の成果の兆しが出ている。

##### 寝屋川公園駅



広大で優良な寝屋川公園に加えて、「新しい時代の学生生活」を提供する施設一体型小中一貫校を整備。全国的な人口減少の時代において、このエリアは人口増となっている。

#### 今後のミッション

##### 萱島駅



「かやしまリノベーションプロジェクト」として、道路や駅前広場の整備、商店街の活性化、密集住宅地の解消などの各事業を総合的かつ計画的に推進。

### 今後の市政運営の基本方針

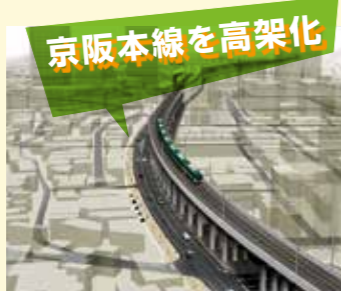
**未来のために必要な「投資」を戦略的に進め、「持続可能な競争優位」を築き、着実に取り組みを推進することで『変化』を確実なものとして、「選ばれるまち」の実現を図る。**

SNSの浸透やコロナ禍を経る中で、自治体の評価は「絶対評価」から「相対評価」の時代へと大きく転換しています。この「競争の時代」の中で、本市が「選ばれるまち」となるためには**寝屋川市「ならでは」「だからこそ」**の新たな価値を生み出していく必要があります。



# 「まちのイメージ」を変える

各地区の強みやポテンシャルを有効に活用し、まちの魅力を更に高める施策を加速することで、新たな「まちのイメージ」を創造していきます。



多くの市民が待ち望む施設を整備

- 寝屋川市駅前に生涯学習拠点の設置を検討
- 市域のバランスをとり、小規模・多機能型スポーツ拠点を計画的に整備

## 公共施設のダウンサイジング

### キーワードは「施設機能の集約化・複合化」

本市の学校園を含む公共施設の多くが築50年を経過し、今後一斉に更新時期を迎えますが、少子高齢化が進む中で、施設総量を将来にわたり維持していくことは困難です。

**将来を見据えて、施設床面積のダウンサイジングを実施しつつも、これまで以上に市民満足度を向上させる施設更新を進める**という、極めて困難なミッションに取り組みます。

## 公園のリノベーション

市内に点在する、360か所を超える大小の公園をリノベーションし、市民サービスの向上につなげます。

「全世代向け」の公園はかえって使いにくい

これまでの既成概念を取り払い各公園に「特徴」を持たせる

**特に!**子育て世代誘引の「メインアイコン」となり得る、高いポテンシャルを持つ南寝屋川公園についてリニューアルを検討

まちの「変化」は、建物だけにとどまらない

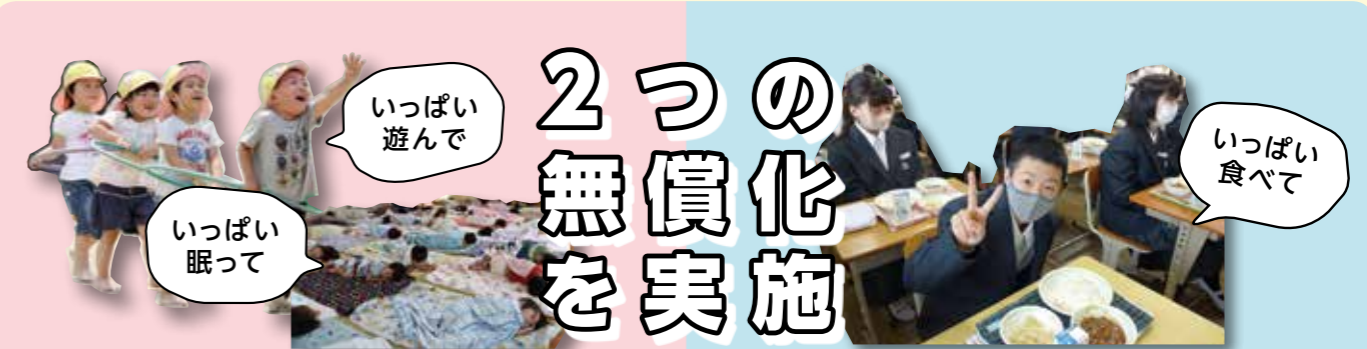


子育て世代から選ばれるまちとなるための

# 「持続可能な競争優位」を築く主な取り組み

## 「子育て・教育環境」を変える

本市の未来を担うすべての子どもが健やかに成長できるよう「**がんばれ!子育て応援予算**」を設定。子どもに最善を尽くす取り組みを継続的に進めます。まずは、国の制度構築を待つことなく速やかに2つの無償化を実施します。



# 2つの無償化を実施

## 第二子以降の保育料の無償化

国の幼児教育・保育の無償化から漏れ落ちていて、特に負担の大きい第二子以降の保育料の無償化を実施します。  
※第一子の年齢は問いません。

## 中学校給食の無償化

中学生の時期は、特に生活費や教育費の負担が大幅に増加することを考慮し、まずは中学校の給食を無償化します。

いずれも「所得制限」はありません

小学校・保育施設・幼稚園の給食費について物価高騰対策として令和5年12月まで**無償化を延長**(予定)

※令和5年6月市議会に関係予算を提案。

## 「暮らしの質」を変える

### 大規模地震に備えたエアコン導入

本市では、災害時に電気やガスが遮断された場合でも備蓄LPガスを利用して空調運転と給電を確保するエアコン設備を中学校の体育館に導入。今後は小学校の体育館にも導入を進めます。



### 地域コミュニティの振興

「地域を守ることは、市民一人一人を守ることである」という認識の下、地域組織の支援を充実させ、施設一体型小中一貫校の開校にあわせて「地域交流スペース」を設置します。

